

概 況

### 1 畜種別取扱高

平成3年中の当市場における畜産物の総取扱高は、頭数54万4千頭、重量10万八千トン、金額1,204億円で、対前年比は頭数で5%減、重量で10%減、金額で12%減となった。

畜種別にみると牛の取扱高は頭数13万7千頭、重量7万3千トン、金額1,032億円で、対前年比は頭数で7%増、重量で12%減、金額で13%減であった。

豚の取扱高は頭数40万6千頭、重量3万5千トン、金額172億円で、対前年比は頭数で8%減、重量で5%減、金額で1%増であった。(表1参照)

### 2 産地別取扱高

牛では頭数・重量は千葉が第1位、金額では栃木が第1位であった。1位から3位までは昨年と同順位であり頭数、重量で10%前後増加した。他県の取扱高では、和牛中心の滋賀が頭数、重量、金額とも前年比20%伸び昨年の15位から11位となった。さらに10~20%取扱高を増やした宮城・埼玉が順位を上げたほかは昨年並の取扱高に終わった。輸入部分肉は重量で45%、金額で53%と大きく減少した。

豚では昨年に続き千葉が頭数・重量・金額とも第1位であり、1位から8位まで昨年と同順位であった。他県の取扱高では東京の頭数が40%増、神奈川の重量、金額が40~50%増と大きく伸びたほか、鹿児島島の搬入枝肉が増えて頭数で5倍、重量・金額で2倍の大幅増となり15位に入った。(表2参照)

### 3 年間市況

牛の全国取引頭数は143万7千頭で対前年比5%増であり、このうち東京市場の取引頭数は13万7千頭で対前年比7%増であった。年間平均価格は1,397円で平成2年に比べ15円安と1%低くなっている。これを月別にみると、1月は1,425円と前年同月比12円高で始まり、4月から6月まで1,400円台にのせたほかは前年比3~8%安の1,300円台で推移した。11月より上昇し1,431円に回復、12月には前年同月比16円高の1,581円で終わった。

また豚の全国取引頭数は1,982万1千頭で対前年比5%減であり、このうち東京市場の取引頭数は40万6千頭で対前年比8%減であった。年間平均価格は482円で平成2年に比べ29円高と6%高くなった。これを月別にみると、1月は397円と前年同月比2円安で始まり、前半は前年比1~13%高で上昇し、7月には対前年同月比4%高588円と年間の最高値となった。8月以降11月まで続落したが10月11月の価格は前年同月を9~19%上回っており、12月には上昇して483円と前年同月比109円高プラス29%で終わった。